

# 踏み跡 <My Mountains>

東北	早池峰山と秋田駒ヶ岳	No.279
----	------------	--------



早池峰山、その名に魅かれて何年位になるだろうか。行ってみたい山としてリストアップしたままになっていた。登山計画に着手したのは平成6年のことだから、もう三年になる。昔のように地方の鉄道網が便利ではなくなっているの、鉄道とバスに頼る旅は組みにくい、600Kmも700Kmも車を運転するのもぞっとする。そんなことから「現地でレンタカーを借りる」というプランを思いついた。かみさんに持ちかけたところ「高山植物を楽しめること」と「夏休みシーズンに入ると混雑するのでその前に」という二つの理由から、7月中旬

旬を選ぶことになった。そして、折角車を駆使するならば・・・ついでにもうひと山、ということで秋田駒ヶ岳へも行くことになり、豪華なプランが実現する運びとなった。

## 平成9年7月12日 <東京発(夜行バス)→>

夕食を済ませて手際よく片付けて出発。東京駅八重洲南口高速バスターミナルで23時10分発盛岡行に乗車。料金は7,850円、定刻通り発車した27人乗りのバスは座席もゆったりとしてよく眠れそうだ。用意した缶ビールを飲みながら読書をして、眠気の到来を待つ。

## 平成9年7月13日 <(夜行バス)→盛岡(レンタカー)→宮古→遠野→大迫→岳>

盛岡駅6時30分着、予定よりも10分早く着いた。私は熟睡したが、かみさんは???  
コインロッカーに荷物を預けて、北上川の畔の散策路で朝食。晴れた青空と雄大な川の流れが気持ち良い。朝食の後は付近をぶらぶら散歩。石川啄木の新婚時代の住居があったので見学。散策の主な目的は、予約してあるニッポンレンタカーの営業店が開くのを待つこと。  
8時、レンタカー(CIVIC 1300cc)を借りて行動開始。今日の予定は、明日の早池峰山登山に備えて山麓の岳(だけ)まで駒を進めること。途中寄り道をしながら走って夕方までに入れば良い。  
まずは国道106号線を東へ100Km弱、早池峰山の北側を通り抜けて宮古までドライブ。宮古の気温は36℃。浄土ヶ浜を見た後で国民休暇村に入って昼食。  
次は国道106号線を川井村まで戻って国道340号線を南へ、まさに岩手の山中を突っ切って遠野へ。民話のふるさと・みちのくの小京都などと言われる遠野は山間の盆地で、強い日差しも加わって34℃。国道沿いにある遠野伝承園などを見学して「遠野らしさ」を味わう。  
途中で明日の昼食を調達して大迫(おおはさま)へ。大迫でワインセンターを見学した後岳へ。岳(だけ)は北に早池峰の主稜線、南に薬師岳から白森山への稜線と二つの山なみに挟まれた山峡で、「遂に早池峰の足元まで来たぞ」との実感が湧く景観だ。  
宿へ入る前に、明日のための下見として河原坊へ。快晴の空に山稜がくっきりと浮かび、双眼鏡で見ると頭垢離(とうくり)から山頂へのルートが手に取るように見える。この天気も明日も続くといいなと思いながら今宵の宿である民宿峰南荘に入った。宿の窓から素晴らしい日没を眺めて本日の終幕。

## 平成9年7月14日 <岳→小田越→早池峰山→小田越→鶯宿温泉>

4時半に起きたが雨、出発を見合わせて空模様注目することにした。

## 踏 み 跡 <My Mountains>

6時半になり雨が止んだので、出発。憧れの早池峰山に立つことができる、わくわくしてくる。河原坊に車を停めて歩行開始。早池峰山・中岳・鶏頭山と周回コースをとってみたいと思っていたが、出発時刻がずれ込んだことで手持ちの時間数が少なくなったので小田越からのピストンに変更。



かなりの雨が降ったようで足元が不安定な場所もある。

7時08分小田越(海拔約1250m)。雲は多めではあるが高く、晴れ間もあり遠望も効く。歩き始めるとすぐに森林限界になった。さすが

に東北の山だたと呟きながら振り返ると1644.9mの薬師岳のひときわ大きな広がり。(上写真)大きな岩場の下で遅い朝食。

一時霧・雨・晴の繰り返しとなったが、高度を上げるにつれて晴になってきた。



早池峰山9時50分(1917m)。大きな岩がゴロゴロしている山頂からは鳥海山・秋田駒・乳頭山・岩手山など名峰の眺めがたっぷり楽しめる。(左写真)足元にはハヤチネウスユキソウを始めとした数々の高山植物が色々楽しめる。(下写真)

昼食後に遠望の山を望遠レンズで撮影しようと思っていたらガスに襲われてチャンスを逸してしまった。

頂上直下の斜面に広がるコバイケイソウの大群落はみごととしか言いようがない。ところどころに車に



なったチングルマが風になびいているし、退屈しない。花を楽しみながら剣ヶ峰方面を散歩している内に主稜線は次々と襲いかかる雲に攻められて、やがて霧雨が降ってきたので11時に出発し下山開始。途中から雨になってしまったので、この選択は正しかったようだ。小田越に13時半帰着。

ところが、車で岳まで降りてきたら雨は止んでしまい曇りになった。

ルートを変更してピストンにしたため早めの下山となった。花を楽しめる時期に来て良かった。花と言い、山と言い、思った通りの早池峰山だった。

次の目的地鶯宿温泉まで、明日の昼食調達や土産物漁りをしながらのんびりとドライブ。折壁峠を越えて紫波から国道396号線を北上。盛岡南インター口を抜けて県道盛岡和賀線・盛岡環状線を経て御所湖の南岸を走り、鶯宿温泉の鶯山荘に夕方到着。

集落を散歩していたら、テレビ東京の旅番組の撮影に出っくわした。

### 平成9年7月15日 <鶯宿温泉→秋田駒ヶ岳八合目→秋田駒ヶ岳→八合目→乳頭温泉>

起床7時、出発は8時半。春木場から国道46号線(秋田街道)に入り、仙岩トンネルを潜って秋田県へ。生保内で国道341号線を離れて秋田駒ヶ岳の山懐へ。夏の間は一般車両の通行が禁じられる八合目への道は、幸運にも「7月19日から通行止め」と表示されていた。急な斜面に付けられたヘアピンカーブを上って海拔1310mの駒ヶ岳八合目に9時45分着。霧と言うよりも霧雨に近い状態で、視界は15m程度だろうか。



水を汲んだついでに喉を通して見てその美味しさに絶句。雨具に身を包んで10時に出発。

この山にもコバイケイソウの大群落があった。すべての花が満開の状態で、霧の中に霞んで見えるさまは何とも名状し難い幻想的光景。

男岳(1623m)、雨で腕時計も見ず。横岳まで縦走を試みたが、雨に加えて強風が襲ってきたので取りやめ。

阿弥陀池に下って避難小屋で昼食。食べている間に雨は本格的な降りになってきたので、早目に切り上げて下山開始。

八合目に13時24分帰着。視界は10mを切ってしまい、時々5m先も見えぬ状態になる。車の中で衣服を着替えて出発。田沢湖まで下ってきたら曇り時々晴れの状態になってきた。湖畔を散策しながら松林の中でき

## 踏 み 跡 <My Mountains>

のこ探し。イグチ・ヤマドリタケなどを収穫の後、今宵の宿の乳頭温泉国民休暇村へ。谷あいの奥地になる乳頭温泉も雨。

平成9年7月16日 <乳頭温泉→網張→小岩井→盛岡（新幹線）→帰宅>

早起きして乳頭山のピストンでも・・・と思っていたが、雨なのでもうひと眠りして7時半に起床。

やがて雨は上がり、岳樺の林の若葉の輝きがひととき目立つ心地よい散策の後出発。

田沢湖・雫石・網張・小岩井と寄り道をして土産を買いながら盛岡へ。

盛岡でレンタカーを返して、15時56分発の新幹線に乗車。東京まで三時間かからない。やはり夜行バスよりは快適だし早い。東京駅に18時48分に到着。

少々雨に邪魔されたが、夢の領域だった「早池峰山と秋田駒」が実現した。雨の山には雨の山の風情があり、晴れた山には晴れた山の愉快さがある。山歩きは「生活の場を移す遊び」なので、好天ばかりではないのは当然だろう。最近はこんなことでは腹が立たず、「いい山だったな」と思うことができるようになった。

以上